



## 死亡災害事例

# 激突 1

事故の型

激突

業種

建築工事業（建築設備）

被災者

とび工(50代)

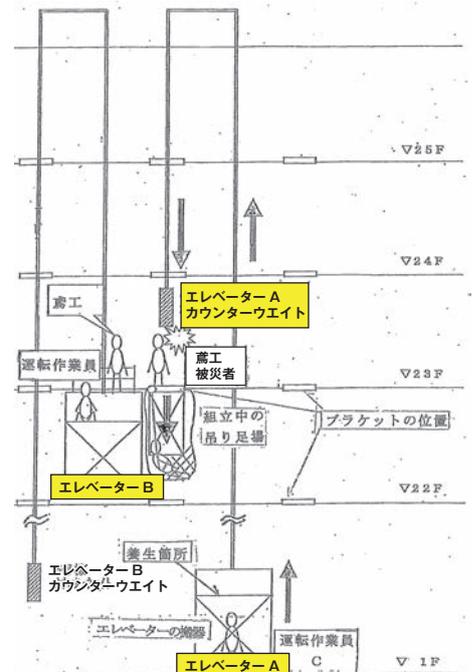
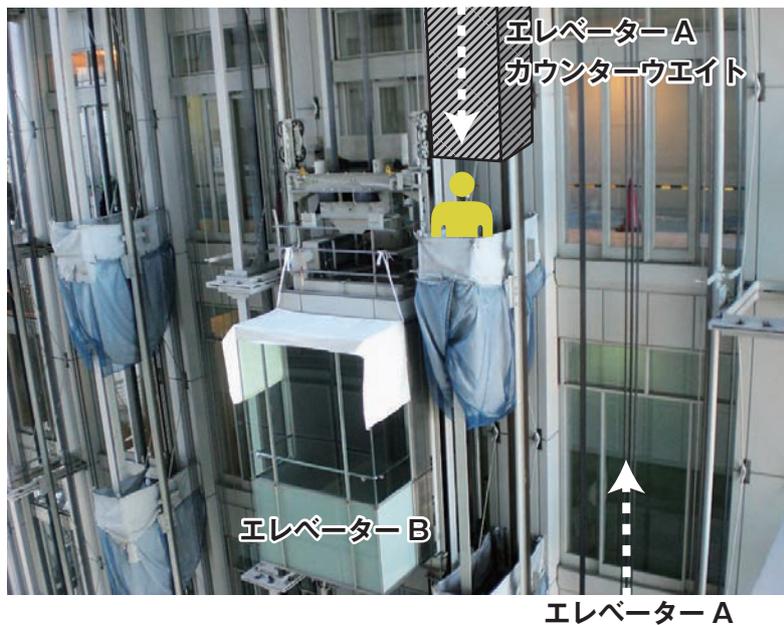
経験年数

25年以上30年未満

発生状況

エレベーターAのカウンターウエイトのガイドレールを保持する枠状の設備（ブラケット）の補修工事を行うため、被災者がエレベーターBのカゴの上からブラケットの上へ移動し、足場（トピック足場）を取り付けていたところ、エレベーターAが上昇し、そのカウンターウエイトが降下して被災者に激突した。

（平成23年1月）



原因と対策

（原因）

・複数の業者による作業が混在する作業であり、エレベーターの運転調整を行わなければならなかったところ、その連絡調整を十分に行わなかったため、本来動かしてはいけない場面でエレベーターAを動かしてしまった。

（被災者はエレベーターB近接箇所ですり足場を設置していた）

（対策）

・エレベーターのカウンターウエイトの昇降する箇所ですり足場を設置する場合には、カウンターウエイトの昇降による下請労働者への危険を回避するため、同一場所でエレベーターの操作を制限するなど、作業間で連絡及び調整を行うこと。